



# 「安倍9条改憲NO」の署名に際して出された疑問にお答えします。

## 憲法9条って何ですか？

日本はかつて、アジア太平洋諸国を侵略し、多くの犠牲者をうみ、大変な惨害をもたらしました。広島・長崎には人類史上初めての原子爆弾が投下され、唯一の戦争被爆国となりました。

こうした戦争への痛苦の反省から、日本国憲法9条に、「二度と戦争をしない」「戦争放棄」「戦力不保持」が刻まれ、紛争は平和外交で解決するという誓いを世界に発し、日本政府が守るべき原則としました。

**日本国憲法第9条**

①日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

②前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権はこれを認めない。

## 自衛隊は日本を守っているのだから憲法に書き込んでも良いのでは？

改憲右翼団体の「日本会議」は、「美しい日本の憲法をつくる国民の会」という名で「ありがとう自衛隊」というチラシを配布しています。

今ある自衛隊は、災害救助に活躍し、万が一日本の国土が攻撃されたときに国民を守る自衛隊です。

安倍内閣は、それまでの「自衛隊は専守防衛に徹するのだから憲法違反ではない」としてきた見解を覆し、集団的自衛権の行使容認を閣議決定し、憲法違反の安保法制（戦争法）も強行しました。

自衛隊が憲法に明記されれば、海外でアメリカ軍とともに戦争する組織に変貌し、日本の防衛とは無関係な海外での戦争に自衛隊員を駆り立てることになります。

自衛隊の憲法明記は「感謝する」どころか、海外で殺し殺される任務を負わせることとなります。9条を守ることは自衛隊員を守ることです。

このQ & Aは2018年1月25日付けのしんぶん赤旗の記事を抜粋・要約したものです。

## 北朝鮮の核・ミサイル開発が心配？

北朝鮮の核・ミサイル開発、実験は絶対に許せません。同時に、朝鮮半島・日本など北東アジアに大惨事をもたらす米国による軍事衝突、核戦争は絶対に起こしてはなりません。自衛隊を憲法に明記することは北東アジアの軍事的緊張を一層激化することになります。

安倍首相は軍事攻撃の選択肢を否定しないトランプ米大統領と「100%ともにある」と繰り返し、対話を否定し続けています。

北朝鮮の脅威を理由に日米共同訓練が日本海で繰り返され、「安保法制」に基づく米艦防護が発動されています。これはもし軍事衝突になれば自動的に日本も戦争に参加することになります。

また、政府は軍事力増強を具体的にすすめています。自衛隊を憲法に明記すれば、日米の一体化をさらに強め、緊張が高まり、日本が攻撃目標にされる危険も高まります。

今必要なことは、平和憲法に基づき、危機をコントロールするための米朝間の無条件対話を緊急に行うことです。

## 国民は9条改憲を望んでいるのですか？

憲法9条改憲は民意ではありません。NHKが昨年3月に行った世論調査では、国政に望むものは「社会保障」や「景気・雇用」が圧倒的に多く、憲法改正は6%で九つの選択肢の中で最下位です。憲法9条の改正については、「必要ない」と答えた人は57%で、「必要」と答えた人の倍以上になります。

そもそも、憲法とは主権者である国民が権力者をしぼるためのものであり、99条は国務大臣などに「憲法を尊重し擁護する義務」を課しています。安倍首相が憲法改定を口にするのは憲法違反であり、立憲主義を破壊することにはかなりません。